

□議員名：古豊和恵

1 通学路の安全確保

論点	通学路の危険箇所について、現状どのようにして把握していますか。
回答	毎年度初めに保護者から児童生徒の通学経路を提出していただき、それを受けて、学校で児童生徒の通学路を把握し、各学校の実情に応じて安全指導を実施しています。

論点	通学路の危険箇所について、対応の優先順位はどのようになっていますか。
回答	通学路交通安全プログラムで抽出された危険箇所は、児童生徒の通行者数、交通量、過去の交通事故の履歴などを総合的に判断し、優先順位を決めています。ライン表示や注意喚起をするための路面表示など、比較的 low コストで効果のある対策は、速やかに、優先的に行っています。

論点	厚陽地区の石鞆バス停付近は生活道路でもあり、子供たちの通学道路でもあります。しかし、ここは全く歩道がない部分があり、とても危険だと思われませんが、いかがでしょうか。
回答	県道津布田郡線については、歩道がない現状は確認しています。ただ、県道に関する整備内容なので、市からはそのような御要望があると、山口県へお伝えしたいと思っています。